

開花から200日以上
樹上で熟させてから収穫する

本熟みかん

2月まで全国の市場へ

JJAわかやま紀南地域本部は12月から早生の「木熟みかん」の市場販売を始めました。出荷は2月まで続き、全国の市場に1200トン（前年比151%）の出荷を計画しています。

木熟みかんは5月の開花から200日以上、木にならしたまま熟させてから収穫するミカンで、紀南地域本部では11月下旬から収穫を開始。12月上旬にピクを迎えました。

今年産は降雨の影響から大玉傾向ですが、田辺市上秋津の田中大介さん（48）は「木に長期間成らすことでもギュッと凝縮された味わいを楽しんでもらいたい」と話します。約80㌃で温州ミカンを栽培し、そのうち30㌃を木熟で出荷する田中さん。品種は「宮川早生」で、12月上旬に収穫を終えました。今年の出来は「糖度も高く上々の仕上がり」とい、



木熟みかんを収穫する田中大介さん



全6回講座をもって卒業した第1期生

女性大学「きらっと」 第1期生が卒業へ

「こたつなどでおいしいミカンを食べながら、家族団らんのひとときを過ごしてもらえれば」と話しています。

紀南地域本部は12月19日、第1期「きらっと」の第6回講座と閉校式を中央営農経済センターで開き、受講生10人が大炭敦史本部長より、卒業証書を受け取りました。

令和7年産の梅・スモモの作柄は、2年続きの凶作不作に加え、地区の全域に降ひょうがあり甚大な被害が発生しました。青果市場やメーカー等からの要望数に十分応えることが出来ない状況のなか、本店及び東京、名古屋、大阪の各県外事務所と密に情報交換を行い、同様に降ひょう被害が発生した紀州地域本部と



栗田 広和
販売部長

わたしのおもい

今年以降、被害がないことを祈るばかりですが、自然災害は人間の力ではどうすることもできません。柔軟に対応できるよう不測の事態に備えてまいります。

販売事業への期待に向けて

県内8JAが合併して9カ月が経過しました。販売事業についてはおおむね5年間は地域本部ごとに事業展開していくこととなっていますが、県内統一に向けては、異なる販売手数料率や応益負担の考え方などさまざまな課題も多く時間がかかるように思います。

JAわかやまに包括承継されましたが、これまで以上に連携を密にして販売強化を図り、農家所得向上につなげられるよう努めていきたいと考えています。

組合員の皆さまの合併に対する期待、特に販売事業に対する期待はかなり大きいものと認識しています。課題は多くとも意見をすり合わせ、他の地域本部の良い部分を取り入れるなど合併効果が發揮できるよう取り組んでまいります。

今後とも販売事業に対し格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

も連携して、柔軟な出荷形態や販売企画に取り組みました。

時間内にいかに魚を釣りあげることができるかどうかのチーム戦。
釣った数はもちろんだけど、魚の裏にポイントが書かれているので、運も大事な要素に?!

大漁 魚釣りゲーム



JAわかやま女性会 女性たちの大運動会 ママリンピック 開催

JAわかやま女性会紀南地域本部は11月27日、合併後初となる「第1回 JA女性のつどいママリンピック」を白浜町立総合体育館で開き、女性会員194人が参加しました。

①ざるひきリレー、②大漁 魚釣りゲーム、③闘所やぶり、④ダンボールタワー、⑤お手玉投げ、⑥サイコロリレー、⑦輪っか拾い、⑧手ぬぐいお手玉投げ、⑨野菜ビンゴゲームの全9種目を役職員チームを含む14チームで競った結果、田辺Dチームが優勝しました。



闘所やぶり



ざるひきリレー



ダンボールタワー



らは全体を通して「梅やこめ油を使った料理は家族にも好評で、料理のレパートリーが増えました」「仲間といろんな体験ができ、とても楽しかったです」といった感想が聞かれ、大炭本部長は「この経験が暮らしに活かされ、実りあるものとなりますよう祈念します」とエールを送りました。

鮎川支店は12月5日、女性会紀南地域本部なかへちプロック協力のもと「なかへちミニマーケット&購買展示会」をJAの栗栖川出張所で開きました。

J Aマルシェの開催によ

り地域で開いていた「なかへちふるさと農林業まつり」が無くなつたことをうけ、購買展示会の集客力アップも兼ねて、小さくてもよいので皆が集まるる場をつくりと企画・開催しています。

支店を拠点に組合員の拠り所となる支店づくりをめざす「支店協同活動」の観

点から鮎川支店が女性会に呼びかけたことがきっかけで始まり、今回で3回目を迎えた。残念ながら当日は雨天のため早々に終了となつてしましましたが、職員と女性



3回目となった今回はあいにくの天候に

会員がフリーマーケットや野菜の販売を行ったほか、地域の人気店による出張販売などもありました。鮎川支店の窪地英文支店長は「集まれるイベント等があれば、皆が集まり活気が出できます。本年もさらに楽しんでもらえるような企画を検討していきたい」と話しています。

会員がフリーマーケットや野菜の販売を行ったほか、地域の人気店による出張販

第1位
田辺D第2位
田辺C

紀南地域版

2月の農作業

◆**隔年結果の是正**
木熟みかん園地等で秋肥の施用があり、遅れた園では樹勢にバラつきがあり、水力のある資材の施用も効果的だ。

◆**土づくり**
地温が上昇し肥料の吸収率が上がった異常気象が多くなっている。天候に左右されない栽培を行うため、冬期に土づくり等で園内環境を改善し、春からの本格的な栽培管理に備えよう。

近年は、極端な干ばつや豪雨といった異常気象が多くなっている。天候に左右されない栽培を行うため、冬期に土づくり等で園内環境を改善し、春からの本格的な栽培管理に備えよう。

◆**剪定**
本格的な剪定は暖かくなる3月頃から始めるのが理想的だが、少しでも早く実施する場合は、南向きの園地から始める。表年樹は予備枝の設定で新梢発生を促そう。裏年樹は、剪定時期を遅めにし、果硬枝の整理など間引き主体の軽い剪定を心がける。樹高を下げたり、立枝の除去等、枝の配置を見直すチャンスもある。

◆**不知火の収穫・予措・貯蔵**
「不知火」は着果部位により品質が異なるため品質分析を行い、酸度が1・3%以下を目安に採果を進め

る。果実は立ち枝に着果するため太い果硬枝になりやすく品質も低下し、病害虫の発生原因にもなるため、間伐・縮伐を行い、適正な植栽密度での栽培に努めよう。

間伐・縮伐を実施する場合は、減収する可能性も含め、2~3年で計画的に進めよう。

◆**密植園の間伐・縮伐**
密植園は、樹体が立ち気味になり、日当たりが悪いため下枝が少なくなっている。果実は立ち枝に着果するため太い果硬枝になりやすく品質も低下し、病害虫の発生原因にもなるため、間伐・縮伐を行い、適正な植栽密度での栽培に努めよう。

間伐・縮伐を実施する場合は、減収する可能性も含め、2~3年で計画的に進めよう。

◆**授粉対策**
「南高」は、「南高」の花粉では結実せず、他品種の花粉で結実するため、親和性の良い授粉樹の混植が重要である。混植割合は2割以上を目標とし、「南高」と隣接するような植栽が望ましい。

結実が不安定な園地では、混植割合を高めたり、授粉枝の高接ぎを行う等、受粉しやすい環境づくりを行う。受粉能力は開花直後から低下するため、開花時期のずれに対応できるよう、2品種以上（小梅・小粒南高・N.K-14・星秀等）を園地にバランスよく混植することが望ましい。

◆**病害虫の防除**
開花期間中はミツバチ保護のため、すべての薬剤防除を控え、地域の巣箱引き上げ状況を十分確認してから

る。予措は貯蔵性を高め、糖度低下の対策としては、暖かい日（12℃以上）に葉面散布（尿素またはあざやか）を7~10日間隔で3回以上散布し、春肥施用まで樹勢維持を図る。

◆**密植園の間伐・縮伐**
密植園は、樹体が立ち気味になり、日当たりが悪いため下枝が少なくなっている。果実は立ち枝に着果するため太い果硬枝になりやすく品質も低下し、病害虫の発生原因にもなるため、間伐・縮伐を行い、適正な植栽密度での栽培に努めよう。

間伐・縮伐を実施する場合は、減収する可能性も含め、2~3年で計画的に進めよう。

◆**交配用ミツバチの配置**
梅の受粉にミツバチは欠かせない。交配用ミツバチの巣箱を、次の点に注意し計画的に配置する。
 ①日当たりが良く、北風が直接当たりにくい場所に配置する（出入口は南向きの方が良い）。

袋掛けした果実は袋のまま収穫し、そのままコンテナで予措する。品質状況で長期間貯蔵する場合はタイベックシート等で覆うと良い。3月上旬の室温が上升する頃からは腐敗の発生に注意する。

（中央営農経済センター・田中大介）

◆**授粉対策**
「南高」は、「南高」の花粉では結実せず、他品種の花粉で結実するため、親和性の良い授粉樹の混植が重要である。混植割合は2割以上を目標とし、「南高」と隣接するような植栽が望ましい。

結実が不安定な園地では、混植割合を高めたり、授粉枝の高接ぎを行う等、受粉しやすい環境づくりを行う。受粉能力は開花直後から低下するため、開花時期のずれに対応できるよう、2品種以上（小梅・小粒南高・N.K-14・星秀等）を園地にバランスよく混植することが望ましい。

◆**病害虫の防除**
開花期間中はミツバチ保護のため、すべての薬剤防除を控え、地域の巣箱引き上げ状況を十分確認してから

に入れて園内に設置することも効果がある。

◆ウスイエンドウ (春採り)
野菜

選抜した主枝4～5本を伸ばして
いく。株元から発生するわき芽は主
枝の成長を阻害するため、早急に切

荒起こしができていらない圃場は2月までに耕起する。土壤改良材として10ル^ト当たり農力アップ100^{キロ}とアヅミン40^{キロ}を施用する。スクミリンゴガイ(ジヤンボタニシ)発生圃場を耕起した後は拡散防止のためにトラクターの洗浄を徹底する。

◆土づくり 水 稲

スモモ

◆病害虫防治

防除を行う。
(芳養谷支店営農經濟・中本慶次)

◆ソラマメ

秋と春に発生するが、特に春の発生が多くなる。発生初期の防除が重要となるため、発生数を確認できるよう、ピタットトルシーを10ル/当たり20枚程度設置する。

・うどんこ病・褐紋病・褐斑病
いずれの病害も過湿、密植、過繁茂で発生しやすい。また、うどんこ病は草勢が低下すると発生するため高い通風性と草勢の維持に努める。

防除薬剤は當農経済指導担当者に相談する。

◆病害虫

○ 収穫
花雷が膨らんだ開花前のものの葉を1~2枚残して収穫する。気温が上がると生育が早くなるため、採り遅れに注意する。

（富田川営農経済センター・石川貴康）

花
き

○灰色かび病
灰色かび病の病原菌は湿度が高いところに形成され、風などで飛散し伝染していく。特に保温のために密閉

※みかん 中晩柑 梅 丑モ 水
稻の防除薬剤や施肥肥料は、JAわ
かやま紀南地域本部令和8年栽培暦
を確認ください。



花木

低温多湿条件での発生が多く、栽培管理中や収穫時の傷から感染する。感染すると白いカビが生じ、やがてネズミの糞状の黒い塊（菌核）を形成する。予防・初期防除を徹底し、発生した場合は被害株を速やかに除去し換気を行う。防除薬剤は営農経済指導担当者に相談する。
(すさみ支店営農経済・前川実)

したハウスやトンネルの多湿状態で被害が拡大しやすいため、日中は換気することを心掛ける。
防除は予防・初期防除を徹底し、成分の異なる薬剤でのローテーションで防除する。防除薬剤は當農経済指導担当者に相談する。

追記

基本的には、開花始めと収穫開始直前の2回が施肥時期であるが、草勢を確認しながら施用する。追肥には1回当たり粒状固形30号プラスチック(10kg/当たり20kg)を施用する。

◆食用ナバナ (菜の花)

○追肥

追肥は発蓄前から施用する。収穫

○菌核庄

低温多湿条件での発生が多く、栽培管理中や収穫時の傷から感染する。感染すると白いカビが生じ、やがてネズミの糞状の黒い塊（菌核）を形成する。予防・初期防除を徹底し、発生した場合は被害株を速やかに除去し換気を行う。防除薬剤は営農経済指導担当者に相談する。
(すさみ支店営農経済・前川実)

手作りのしめ縄 お届け

大阪方面中心に
地元にも出荷

田辺市
中辺路町



新年を目前に控えた12月、田辺市中辺路町の栗栖川地区で正月用しめ縄飾りの出荷が最盛期を迎えました。

稻わらから飾り付ける縁起物までべて地場産を使用しており、大阪の市場を中心に地元のAコープや直売所にも出荷しました。



大きな野菜に笑顔も。冬野菜の収穫体験

JA共済アンパンマン「子どもくらぶ」は12月7日、「JA共済アンパンマン「子どもくらぶ」」の会員を対象に田辺市高雄のJA学童農園で冬野菜の収穫体験を行い、39組141人の親子が参加しました。

「JA共済アンパンマン「子どもくらぶ」は、子育て世代の皆様を対象に、出産や育児を応援するJA

親子で冬野菜の収穫体験



「JA共済アンパンマン「子どもくらぶ」」

紀南地域本部は12月7日、「JA共

A 共済の活動です。
一生懸命に土を掘り起こした先に冬野菜が顔を出すと、子どもたちは大興奮。保護者や職員の助けも借りながら楽しそうに収穫していました。

2/20 JA総合相談会

(弁護士・税理士による無料相談会)

- 相談会場 紀南地域本部
- 相談時間 9時~12時
- 問合せ先 金融部(☎0739-23-3516)



ベビーサインを教わる参加者

JA共済アンパンマン「子どもくらぶ」の会員が対象のベビーサイン体験教室を田辺市新庄町の「県立情報交流センターB」で開き、16組の親子が参加しました。

ベビーサインとは、まだ話すことができない赤ちゃんと、簡単な手話やジェスチャーでコミュニケーションを取り育児法のことで、JAでも親子の絆を深めてもらおうと同教室を開いています。

16組の親子が参加

173人が参加



第1回グラウンドゴルフ大会に上位入賞した皆さん

JA共済は12月10日、上富田スポーツセンター多目的グラウンドで年金受給者を対象にした第1回グラウンドゴルフ大会を開きました。健康づくりと年金受給者間の親睦を図ることが目的。今年は173人が参加し、計24ホールでスコアを競いました。上位入賞者は次の皆さんです(敬称略)。

【男性の部】優勝=大岡建(串本)▽

【女性の部】優勝=坂上朋義(三柄)▽3位=齊藤信一(串本)

【女性の部】準優勝=地主春美(串本)▽3位=友宗佐江子(串本)

【女性の部】優勝=森忍(すさみ)▽

【女性の部】準優勝=坂上朋義(三柄)▽3位=齊藤信一(串本)

【女性の部】優勝=大岡建(串本)▽

【女性の部】準優勝=地主春美(串本)▽3位=友宗佐江子(串本)

【女性の部】優勝=森忍(すさみ)▽

【女性の部】準優勝=坂上朋義(三柄)▽3位=齊藤信一(串本)

【女性の部】優勝=大岡建(串本)

ふれあい広場



田辺市江川 里ょうざき せいや 游崎 盛也さん

Uターンし、ブルーベリー農家に転身
観光農園のオープンを夢見て邁進中

高知県から3年前にUターンし、現在は農家としてブルーベリーを中心に栽培しています。目の疲労軽減に摂取していたサプリメントがきっかけで栽培に興味を持つようになり、しばらく家庭菜園で楽しんでいましたが、“好きなことを仕事にしよう”と帰郷を決意。ブルーベリーはJAのフアーマーズマーケット「紀菜柑」にも出荷しています。

故郷での農業ライフはまだ始まったばかりですが、好きなことに打ち込める今の暮らしがとても楽しく充実しています。ゆくゆくは、家族連れなどで楽しんでもらえるような観光農園も始めてみたいなどと夢見てています。

今月の
きなん産地人生産者
紹介

上富田町岡

おかもと かずや 岡本 和也さん

8品種のトルコギキョウを栽培

紀南地域の花き農家としては最若手で、10歳で8品種のトルコギキョウを栽培しています。就農前には農業大学校のプログラムを利用して海外で花き栽培の研修に参加したこともあります。

トルコギキョウは見た目の豪華さはもちろん、花持ちが良く長く楽しんでもらえるところも魅力です。記念日やイベントはもちろんのこと、家族など大切な人への贈り物にもオススメです。

令和7年は酷暑の上をいく暑さで通常通りに栽培することも難しい年となりました。本年は上位等級率のさらなる向上をめざして精進しつつ、JAの「トルコギキョウ分科会」の一員として引き続き、需要期の安定供給に努めたいです。

ENJOY
セカンド
ライフ



田辺市城山台 たかい ゆま 高井 結菜ちゃん(5歳)

すくすく
Memory

いつも元気な4人兄妹の末っ子！
逆上がりもできるようになったんだ

4人兄妹の末っ子という結菜ちゃん。いつも元気なおてんばさんで、とにかくいろんなことに興味津々。お砂やブランコで遊んだり、自転車に乗ったり、楽しみが尽きないみたい。鉄棒で逆上がりもできるようになったんだ。

かわいいシールを集めることにも最近ハマっていて、お姉ちゃんともよくシール交換をしているよ。大きくなったら、ディズニープリンセスの「ベル」になりたいな。

これからも健康で元気に、
ご家族から一言 自分らしく自由に育ってね

地域本部の
JA職員です

富田川営農経済センター
購買担当

湯川 哲至さん

最近ドローンを導入し、操作に試行錯誤しています。新たな年を迎ましたので、健康に気を付けて過ごせるよう心がけたいです。

中央SS

今井 勇二さん

洗車の際に「きれいにしていただいてありがとうございます」と声をかけてくれた皆さま、ありがとうございます。少しでも早く業務に慣れるよう、本年も引き続き頑張ります。

